

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、資本の状況

（単位：億円）

	2015年度末 (2016年3月31日)	2016年度 第1四半期末 (2016年6月30日)	前年度末比
資産合計	32,263	30,086	△2,176
負債合計	23,000	22,017	△983
資本合計	9,262	8,069	△1,192
親会社所有者帰属持分(自己資本)	7,827	6,798	△1,029

〔ご参考〕

現金及び現金同等物	3,808	4,198	390
有利子負債	5,349	5,794	445
ネット有利子負債	1,541	1,595	54
D/Eレシオ	0.68倍	0.85倍	0.17倍
ネットD/Eレシオ	0.20倍	0.23倍	0.03倍
親会社所有者帰属持分比率(自己資本比率)	24.3%	22.6%	△1.7%

当第1四半期末の資産合計は3兆86億円と、前年度末から2,176億円減少しました。前年度末に集中した売上に係る売掛金を回収したことにより、売上債権が減少しました。

負債合計は2兆2,017億円と、前年度末から983億円減少しました。仕入債務は前年度末に集中した売上に対応する支払いにより減少したほか、その他の債務が賞与の支給により減少しました。有利子負債は5,794億円と、運転資金の一部を短期借入金で調達したことなどにより445億円増加しました。

資本合計は8,069億円と、前年度末から1,192億円減少しました。金利低下に伴う割引率引下げなどにより確定給付制度の積立状況が悪化し、利益剰余金が減少しました。また、円高が進行したことにより在外営業活動体の換算差額が減少し、その他の資本の構成要素も減少しました。

なお、親会社所有者帰属持分比率（自己資本比率）は22.6%と前年度末から1.7ポイント減少しました。

②キャッシュ・フローの状況

（単位：億円）

	2015年度 第1四半期	2016年度 第1四半期	前年同期比
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	293	620	326
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△283	△384	△100
I+II フリー・キャッシュ・フロー	9	236	226
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	121	268	146
IV 現金及び現金同等物の四半期末残高	3,783	4,198	415

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは620億円のプラスと、前年同期からは326億円の収入増となりました。税引前四半期利益が改善したほか、運転資本も改善しました。

投資活動によるキャッシュ・フローはデータセンター設備などへの投資により384億円のマイナスとなりました。前年同期からは100億円の支出増となりました。

営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリー・キャッシュ・フローは236億円のプラスと、前年同期からは226億円の収入増となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、268億円のプラスとなりました。運転資金の一部を短期借入金で調達したことなどにより、前年同期からは146億円の収入増となりました。

この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は前年度末から390億円増加し、4,198億円となりました。